

小学校4年（第2時） こちよい人間関係

自分も相手もこちよく 「上手なことわり方」

1 ねらい

相手の気持ちに配慮しながら、うまく断るポイントを身に付け、心地よい人間関係を築く。

2 本時で目指す児童の姿

- (1) 相手を傷つけずに断るために、大切な言い方のポイントを考えている。
- (2) 上手な断り方のポイントをおさえながら考え、誠実に対等に表現している。

3 準備

- (1) 使用するシート

ア 「ことわり方」ロールプレイシート【p. 85～86】

イ 振り返りシート【p. 230】

- (2) その他

2～4人グループをつくる。(学級の実態に応じて)

4 展開

学習活動	留意点
<p>1 「こちよい人間関係」について確認する。 【2分間】</p> <p>2 本時のねらいを理解する。【3分間】</p> <p>○断りたいけど断ることができなかった経験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手がすごくやりたそうだと断れないよ。 ・次から遊んでももらえないかもって思うと、用事があっても約束しちゃったことがあるよ。 ・嫌なときがあるよね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どんなことわり方をしたらよいだろう。</p> </div> <p>3 どのタイプがうまく断っているのか考える。【7分間】</p> <p>○ワークシートの会話を読み、どのように感じたかグループまたはペアで伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Aタイプ＝もじもじタイプ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・もじもじしていて、考えていることが分からないな。 	<p>○児童の今までの経験を聞き出し、「断る」ことの難しさを共有する。</p> <p>○「断る」ときの言動によってトラブルになることや断り方に悩んでいることをおさえる。</p> <p>○言い方によって、嫌な気持ちになることに気付かせる。</p> <p>○A～Cタイプの断り方を比較することによって、上手な断り方にはどんな</p>

<p>Bタイプ＝ガミガミタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言い方が強くて嫌な気持ちになるな・・・。 <p>Cタイプ＝さわやかタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こう言われたら、「うん、分かったよ」って思うよね。 <p>4 どのタイプのどんなところが良いか、グループで話し合う。【8分間】</p> <p>○良い断り方だと思ったセリフのどの言葉が良かったのか意見を出し合う。その言葉を一般化し、上手な断り方のポイントとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・あやまる・・・「ごめんね」「わるいんだけど・・・」 ・その理由・・・「今日どうしても○○しないといけないから」「まだ1度も使ってないから」 ・代わりの案・・・「貸せないけど、一緒に使うならいいよ。」 </div> <p>5 事例の断り方を考える。【20分間】</p> <p>○上手な断り方を、2つの事例について考え、ワークシートに記入する。</p> <p>①いつも外で遊んでいたが、今日は図書室で本を借りたいと思った。</p> <p>②係決めるとき、仲のいい友達に「同じ予定係にしよう。」と言われたが、配達係になりたいと思っていた。</p> <p>○「相手」「あなた」役を順番に行いながらロールプレイ形式でグループで自分の考えを伝え合う。</p> <p>○全体で発表する。</p> <p>6 振り返りをする。【5分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う案を提案するのは難しいけど、必要だ。 ・最初にきちんと謝るのが大事だと思った。 <p>○振り返りシートに今の気持ちを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手な断り方にはポイントがあった。考えて答えれば、相手の気分を悪くしてしまうことが少なくなると思った。 	<p>ポイント(要素)があるのか気付くように促す。</p> <p>○それぞれのポイントごと、具体的な言葉の例をできるだけ考えるようにし、板書で可視化する。</p> <p>○まずは一人で考え、その後、意見を交流し合う。</p> <p>○断る状況としては、さまざまな状況が考えられるが、発達段階を考え、今回は好意をもって誘われたことに対し断る状況に限定する。</p> <p>○友達の断り方の良いところを伝え合うように促す。</p> <p>○非言語（表情、声のトーン、態度等）に留意させる声掛けをする。</p> <p>◇（ねらいにせまった姿）</p> <p>良い断り方に必要な3つのポイントを理解し、実践している。</p> <p>○児童の振り返りをもとに、日頃から取り組んでいくことを意識させるようにする。</p>
---	--

年 組 番 名 前

■自由参加^{さんか}でだれでもエントリーでき、昼休みに行われる短縄^{なわと}跳び大会に「いっしょに参加^{さんか}しよう」と言われたが。



【A タイプ】

タイプ

相手:今度の短縄^{なわと}跳び大会にいっしょに参加^{さんか}しない?

あなた:えっと…どうしようかな…。

相手:ためしてみようよ。

あなた:うーん…、そうだね…。どうしよう…。

相手:どうするの?もう、なやんでいるなら名前を2人分書くからね!

【B タイプ】

タイプ

相手:今度の短縄^{なわと}跳び大会にいっしょに参加^{さんか}しない?

あなた:絶対^{ぜったいいや}嫌だよ。めんどうだし。

相手:えー、そんな言い方しなくたっていいのに…。

【C タイプ】

タイプ

相手:今度の短縄^{なわと}跳び大会にいっしょに参加^{さんか}しない?

あなた:ごめん、参加^{さんか}したいけど、全然練習してないから自信なくて。また、次は参加^{さんか}したいと思う。さそってくれてありがとう。今回はごめんね。

相手:そっかー、今回は残念^{さんねん}だけど、次はいっしょに出ようね。

年 組 番 名前

【例 1】

いつも外で遊んでいたけど、今日は図書室で本を借^かりたい。いつものように、友達が外へ行こうとさそってきた。

じょうず
【上手なことわり方】

【例 2】

係決めるとき、なかのよい友達に「同じ予定係になろう。」とさそわれたが、配達係になりたいと思っていた。

じょうず
【上手なことわり方】



振り返りシート【プログラム： 】

年 組 番 名前

1 自分のこととして取り組みましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

2 自分や友達のことを大切にしましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

3 この授業で大切にしたいことやこれからの生活に役立てたいことなどを書いてください。